

地域医療支援病院の名称の申請について

令和1年12月27日（金）

社会医療法人愛仁会 千船病院

## 1, 千船病院 概要

### (1) 理念と基本方針について

#### 理念

千船病院は医療を通じて社会に貢献します

#### 基本方針

患者さまに質の良い医療を提供します

患者さまに安心と満足のいただける公正な医療を提供します

患者さまのプライバシーと権利を守ります

開放型病院としての役割を自覚し、効率のよい地域医療を提供します

### (2) 施設概要

1. 名称 社会医療法人愛仁会 千船病院
2. 所在地 大阪市西淀川区福町 3-2-39
3. 開設者 社会医療法人愛仁会 理事長 内藤 嘉之
4. 管理者 院長 吉井 勝彦
5. 許可病床数 292 床（急性期一般入院基本料 1）
6. 診療科目

#### 〔診療科〕（20 診療科）

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、新生児小児科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科

#### 〔診療センター〕

救急センター、消化器内視鏡センター、肥満・糖尿病内分泌センター、腎センター、関節センター、地域周産期母子医療センター

#### 〔法人その他の施設〕 \*大阪市西淀川区内

- ・千船病院附属 千船クリニック（透析、在宅医療）
- ・介護老人保健施設ユーアイ
- ・訪問看護ステーション ほほえみ
- ・ケアプランセンター ちぶね
- ・ヘルパーステーション ちぶね

10. 医療従事者 \*平成31年4月1日時点

常勤	： 683名	{	医師           ： 117名 看護師       ： 435名 医療技能職   ： 131名
非常勤	： 227名	{	医師           ： 204名 看護師       ： 23名

(3) 沿革

千船病院は、社会医療法人愛仁会発祥の地である阪神千船駅前において創立以来60年以上の歴史を重ねて地域医療発展のために邁進してきた病院です。1958年、中小工場が多いこの地域の人々に最高の医療を提供しようと理想に燃えた数名の医師により設立された有床の診療所が、現在では社会医療法人として極めて公益性の高い、全20の診療科を有する急性期総合病院となり、地域への医療・介護・福祉への貢献のみならず、厚生労働省指定臨床研修指定病院として医療従事者の育成を行う病院へと成長しました。設立当初より「患者さまに安心と満足の頂ける医療の提供」を根本理念に掲げ、地域住民から広く信頼され親しまれ、現在では大阪市内はもちろんのこと隣接する兵庫県尼崎市、西宮市等の地域診療所とも密接な連携があります。この結果1996年には開放型病院の承認を受け、現在200名を超える登録医と連携し、共同診療、合同研究会、地域連携協議会などを行い、地域医療レベルの更なる向上に努力しています。

昭和33年(1958年)	11月	医療法人愛仁会設立
昭和34年(1959年)	1月	医療法人愛仁会 千船診療所開院
昭和41年(1966年)	5月	千船病院開院(94床)
昭和46年(1971年)	5月	病院増築(191床)
昭和57年(1982年)	7月	病院新築移転(292床)
平成8年(1996年)	8月	開放型病院認可
平成10年(1998年)	2月	病院機能評価 Ver.2.0 認定
平成13年(2001年)	4月	臨床研修指定病院認定
平成16年(2004年)	2月	病院機能評価 Ver.4.0 認定
平成16年(2004年)	7月	千船病院附属千船クリニック開院 電子カルテ導入
平成18年(2006年)	4月	DPC 対象病院、7対1看護基準取得
平成19年(2007年)	11月	地域周産期母子医療センター認定



平成 20 年 (2008 年)	1 月	卒後臨床研修評価認定 病院機能評価 Ver.5.0 認定
平成 21 年 (2009 年)	4 月	社会医療法人愛仁会認可 千船病院附属千船腎臓・透析クリニック開院
平成 22 年 (2010 年)	3 月	大阪府がん診療拠点病院指定
平成 24 年 (2012 年)	5 月	千船クリニックス・千船病院 統合
平成 25 年 (2013 年)	1 月	病院機能評価 Ver.6.0 認定
平成 26 年 (2014 年)	4 月	千船病院ドック部門独立 →カーム尼崎健診プラザ開設
平成 29 年 (2017 年)	7 月	病院新築移転 (292 床)
平成 30 年 (2018 年)	5 月	病院機能評価 一般病院 2 3rdG:Ver.1.1 認定



#### (4) 施設認定の状況について

**特殊診療施設** 臨床研修指定病院 (基幹型臨床研修病院)、卒後臨床研修評価認定施設  
 病院機能評価認定施設、開放型病院、救急指定病院  
 地域周産期母子センター、人工透析部門、リハビリテーション部門  
 画像診断部門 (MRI・CT・RI)、腎・尿管結石破碎センター  
 ICU (集中治療室)、NICU (新生児集中治療室)、MFICU (母体胎児集中治療室)

**学会認定** 日本内科学会認定医制度教育病院  
 日本循環器学会専門医研修施設  
 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設  
 日本消化器病学会専門医制度認定施設  
 日本糖尿病学会認定教育施設  
 日本透析医学会専門医制度認定施設  
 日本腎臓学会研修施設  
 日本小児科学会小児科専門医研修施設  
 日本周産期・新生児医学会新生児専門医基幹研修施設  
 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設

日本外科学会専門医制度修練施設  
日本消化器外科学会専門医制度認定施設  
日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設  
日本整形外科学会専門医研修施設  
日本リウマチ学会教育施設  
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設  
日本周産期・新生児医学会母体・胎児専門医基幹研修施設  
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設  
日本泌尿器科学会専門医教育施設  
日本脳神経外科学会研修施設  
日本眼科学会専門医研修施設  
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院  
日本救急医学会救急科専門医指定施設  
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関  
日本病理学会研修認定施設  
日本臨床細胞学会教育研修認定施設  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本病態栄養学会病態栄養専門医研修認定施設

## 2, 地域医療支援病院の要件に関する項目 (主たるものを抜粋)

### (1) 紹介率・逆紹介率

1. 紹介率       【紹介実績】       67.0% (平成30年度)  
                  \*令和1年度 (平成31年4月～令和1年9月まで) の実績: 68.7%
  
2. 逆紹介率     【逆紹介実績】     45.2% (平成30年度)  
                  \*令和1年度 (平成31年4月～令和1年9月まで) の実績: 46.7%

(平成30年度、令和1年度(4月～9月)の実績詳細は「資料1および2」(P.10～11)を参照)

### (2) 救急医療の提供

1. 重症救急患者のための病床の確保状況  
優先的に使用できる専床: 18床
  
2. 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要  
救急センター診察室、集中治療室、手術室、分娩室、集中治療室、NICU、MFICU、  
内視鏡検査室、CT室
  
3. 救急用又は患者輸送用自動車の確保状況  
保有台数: 1台
  
4. 救急医療の提供実績  
平成30年度の救急患者数: 14,812名 (月平均: 1,234名)  
うち、救急用又は患者輸送用自動車による搬送患者数: 5,897名 (月平均: 491名)

(平成30年度、令和1年度(4月～9月)の実績詳細は「資料1および2」(P.10～11)を参照)

### (3) 共同利用の実績

1. 共同利用を行った医療機関の延べ数: 3,003件 (平成30年度)  
                  (内訳) 共同利用件数: 2,900件  
                  共同診療件数: 103件

2. 常時共同利用可能な病床数：6床

3. 上記2に係る病床利用率：75.5%

4. 登録医療機関数：178機関（うち、二次医療圏内（大阪市）130医療機関）

\*平成30年3月31日時点

(4) 地域医療従事者の資質向上を図るための研修実績

【研修実績】19回（平成30年度）

研修会実施回数		19回
	学術講演会	7回
	その他	12回
延べ参加人数		1,540名
	院外	344名
	院内	1,196名

(5) 患者相談の実績について

1. 相談実績：4,473件（平成30年度）

2. 相談内容：医療福祉相談 174件  
がん看護相談 521件  
窓口相談 3,778件

(6) 運営委員会の開催実績

1. 開催実績：4回（平成30年度）

2. 委員

	氏名	所属・役職	*令和1年度
委員長	吉井 勝彦	千船病院 院長	
委員	尾崎 正憲	千船病院 副院長（地域医療担当）	
委員	福田 弥一郎	大阪市西淀川区医師会 会長	
委員	板東 博志	大阪市此花区医師会 会長	
委員	中川 浩彰	大阪市淀川区医師会 会長	

委員	小倉 康義	大阪市西淀川区歯科医師会 会長	
委員	小西 明	大阪市西淀川区薬剤師会 会長	
委員	山本 智紀	大阪市西淀川区保健福祉センター 所長	
委員	白鷹 善之	大阪府西淀川警察署 署長	
委員	貝本 義明	大阪市西淀川消防署 署長	→ 細見 孝司
委員	平井 智美	千船病院 看護部長	→ 後迫 瑞穂
委員	井内 伸一	千船病院 事務部長	→ 中山 健太郎

### 3. 開催時期・内容

	開催日	内容
第1回	平成30年7月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院に係る基準について</li> <li>・地域医療支援病院運営委員会について</li> <li>・その他</li> </ul>
第2回	平成30年9月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院に係る基準について</li> <li>・地域医療研修プログラムについて</li> <li>・その他</li> </ul>
第3回	平成30年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院に係る基準について</li> <li>・その他</li> </ul>
第4回	平成31年1月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院に係る基準について</li> <li>・その他</li> </ul>

### 3, その他の地域医療支援病院に求められる取り組み

#### 地域の医療・介護への貢献

- ・大阪市高齢者等在宅医療・介護連携に関する相談支援事業（平成28年度より受託）  
西淀川区医師会、西淀病院と共に受託し、病院内に西淀川区医師会在宅医療・介護連携相談支援室を設置し、地域の医療・介護従事者からの相談に対して在宅医療・介護連携支援コーディネーターが対応している。

## 在宅医療・介護連携支援コーディネーターとしての主な活動内容

「切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に向けた推進」活動として講演会・研修会等を企画開催した。また、地域の各種会議に参加した。

- 在宅医療・介護連携推進講演会「多職種全体で入退院支援の基本的なプロセスを知る」  
～大阪府 入退院支援の手引きの概要と活用方法～  
42 事業所、3 病院 117 名参加
- 病院と在宅の連携を考える会  
13 事業所・3 病院 29 名参加
- 区内病院地域連携室会議  
4 病院 8 名参加
- 訪問看護連絡会に参加して必要な課題を提案(独居・身寄りのない死亡時のフローシート)
- 病診・病病連携会「台風 21 号の経験を通し災害時の医療・介護の連携を考える意見交換会」参加
- 介護保険施設 22 か所へのアンケート実施  
第 1 回施設連絡会を開催  
19 か所 31 名参加
- スキルアップセミナー 急変時の対応～やってみよう BLS～  
9 事業所 25 名参加
- 多職種参加事例検討会「8050 問題についての支援事例(介護・障害・認知症)」  
15 職種 73 名参加
- 多職種研修会 「これからの医療・ケアに関する話し合い」  
ワールドカフェ 9 職種 34 名参加
- ACP 区民啓発 区内全域 1 回(120 名参加)  
圏域ごと 1 回ずつ開催(2 回 50 名参加)

「医療・介護関係者間の情報共有の支援」活動

- ケアマネジャーを対象とした病院での退院支援研修  
(入退院支援加算 1 体制、地域連携の仕組み、退院支援カンファへ参加)
- 入院時情報提供シート見直し検討会を居宅支援事業所連携会で実施
- 「大阪府 入退院支援の手引き」に沿った多職種研修会の共催  
「病院と在宅の連携を考える会」の開催

・大阪市重症心身障がい児者等医療型短期入所

医療的ケアが必要な重症心身障がい児者等のためのショートステイ事業に「大阪市重症心身障がい児者等医療型短期入所」として参画している。

## 周産期医療への貢献

・未受診妊婦への対応（平成30年度：25件）

・産婦人科救急搬送体制確保事業（旧：産婦人科一次救急ネットワーク整備事業）

産婦人科救急搬送体制確保事業（旧：産婦人科一次救急ネットワーク整備事業）に参画し、大阪府下の半数以上の受入を行っている。

\*平成30年度実績

大阪府全体の受入数 1,138件　うち、655件を千船病院にて受入

・分娩数

平成30年度　：　1,755件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
159	163	131	170	150	148	146	137	137	146	129	139	1,755

令和1年度　：　1,263件（令和1年度4月～11月までの実績）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
133	141	148	155	194	164	154	174					1,263

<添付資料>

【添付資料 1 および 2】

・平成30年度 月別紹介・逆紹介実績表

・令和1年度 月別紹介・逆紹介実績表

・平成30年度・令和1年度 月別救急医療の提供実績表

平成30年度の実績表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A：紹介患者の数	563	635	585	741	766	679	889	775	743	697	790	925	8,788
V：すべての初診患者の数	1,546	1,694	1,570	1,832	1,932	1,624	1,777	1,659	1,730	2,156	1,704	1,963	21,187
d：救急搬入患者の数（初診患者）	307	342	322	389	395	355	306	314	333	363	240	284	3,950
e：休日夜間の患者の数（初診患者）	278	356	274	339	305	357	242	258	400	661	310	284	4,064
f：健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者の数（初診患者）	1	3	7	9	11	6	5	2	3	8	3	5	63
C：逆紹介患者の数	369	374	358	518	550	501	552	541	500	498	521	654	5,936
紹介率 $A / (V - d - e - f)$	58.6%	63.9%	60.4%	67.6%	62.7%	74.9%	72.6%	71.4%	74.7%	62.0%	68.6%	66.5%	67.0%
逆紹介率 $C / (V - d - e - f)$	38.4%	37.6%	37.0%	47.3%	45.0%	55.2%	45.0%	49.8%	50.3%	44.3%	45.2%	47.0%	45.2%

A：紹介患者の数 ⇒ 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数

V：すべての初診患者の数 ⇒ 患者の傷病について医学的に初診といわれる診療行為があった患者の数

d：救急搬入患者の数 ⇒ 初診患者の内、地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数

e：休日夜間の患者の数 ⇒ 初診患者の内、休日又は夜間に受診した患者

「休日」とは、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和二三年法律一七八号）第三条に規定する休日、一月二日及び三日並びに一二月二九日、三〇日及び三一日をいい、「夜間」とは、午後六時から翌日の午前八時まで（土曜日の場合は、正午以降）をいうものであること

f：健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者の数 ⇒ 自他覚的症状がなく健康診断を目的とする当該病院の受診により疾患が発見された患者について、特に治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数

C：逆紹介患者の数 ⇒ 地域医療支援病院から他の病院又は診療所に紹介した者の数（診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該医療機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者（開設者と直接関係のある他の医療機関に紹介した患者を除く。）の数）

※各項目については、平成26年4月1日に改正された「医療法の一部を改正する法律の施行について」（平成10年5月19日付け健政発第639号）を参照のこと。

【救急搬送患者数】※初診・再診を問わず全ての救急搬送患者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急搬送患者数	443	510	487	557	566	506	457	468	495	556	380	472	5,897

令和元年度の実績表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A：紹介患者の数	898	797	892	931	850	831							5,199
V：すべての初診患者の数	1,866	1,847	1,849	1,901	1,917	1,666							11,046
d：救急搬入患者の数（初診患者）	331	320	324	332	373	323							2,003
e：休日夜間の患者の数（初診患者）	242	241	237	240	258	242							1,460
f：健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者の数（初診患者）	2	2	5	6	6	1							22
C：逆紹介患者の数	602	550	631	644	556	551							3,534
紹介率 $A / (V - d - e - f)$	69.5%	62.0%	69.5%	70.3%	66.4%	75.5%							68.7%
逆紹介率 $C / (V - d - e - f)$	46.6%	42.8%	49.1%	48.6%	43.4%	50.0%							46.7%

A：紹介患者の数 ⇒ 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数

V：すべての初診患者の数 ⇒ 患者の傷病について医学的に初診といわれる診療行為があった患者の数

d：救急搬入患者の数 ⇒ 初診患者の内、地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数

e：休日夜間の患者の数 ⇒ 初診患者の内、休日又は夜間に受診した患者

「休日」とは、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和二三年法律一七八号）第三条に規定する休日、一月二日及び三日並びに一二月二九日、三〇日及び三一日をいい、「夜間」とは、午後六時から翌日の午前八時まで（土曜日の場合は、正午以降）をいうものであること

f：健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者の数 ⇒ 自覚的症状がなく健康診断を目的とする当該病院の受診により疾患が発見された患者について、特に治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数

C：逆紹介患者の数 ⇒ 地域医療支援病院から他の病院又は診療所に紹介した者の数（診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該医療機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者（開設者と直接関係のある他の医療機関に紹介した患者を除く。）の数）

※各項目については、平成26年4月1日に改正された「医療法の一部を改正する法律の施行について」（平成10年5月19日付け健政発第639号）を参照のこと。

【救急搬送患者数】※初診・再診を問わず全ての救急搬送患者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急搬送患者数	466	472	500	488	528	466							2,920